

対象国の条件:

研修コース番号:(A)201984468-J002/(B)201984469-J002

案件番号:(A)201984468/(B)201984469

主分野課題:水資源/都市給水

副分野課題:

使用言語:(A)英語/(B)英語

案件概要

都市上水道の維持管理を行なう現場技術者(エンジニアレベル)の中でも「浄水・水質」に従事する技術者に対し、集中的、かつ実践的な技術の移転、普及を図る。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

対象国の都市上水道維持管理を実施する組織の「浄水・水質」分野を担う技術者の人材育成を旨とし、日本が有している知識や技術の中から応用可能なものが技術者に共有される。

【対象組織】

都市上水道の運用及び維持管理を実施する組織

【成果】

1. 日本の水道事業の運用及び概要を理解し、他の者に対し説明できるようになる。
2. 「浄水・水質」装置の運用及び維持管理についての知識・技術を修得し、他の者に対し説明できるようになる。
3. 配水・配管に関する基本技術を修得し、他の者に対し説明できるようになる。
4. 本邦研修修了時に、研修員の所属先で適用可能な「浄水・水質」関連の水道技術に関するアクションプランを作成することができる

【対象人材】

都市上水道維持管理を実施する組織の「浄水・水質」部門技術者(エンジニアレベル)で、その分野における現場経験が5年以上あること、技術指導を実施する立場にある者

内 容

【事前活動】

1. 所属組織での課題抽出および研修員と研修員の所属組織(長)による課題設定
2. インセプションレポート、質問票の作成

【本邦活動】以下の項目に関する講義、見学、実習、討議を行なう。

- <講義> 水質管理、塩素消毒理論、(取水・配水・浄水)施設の概要、機械・電気施設維持管理、災害対策
- <見学> (取水・浄水・配水)施設、ポンプ製造工場、水道メーター製造工場、水の科学博物館
- <実習> 漏水の点検整備、浄水施設の運転管理、浄水処理、水質監視機器の保守点検、
- <討議> コンサルテーション、アクションプラン作成における研修員間討議

【事後活動】本邦研修終了後3ヵ月以内に研修員の所属先で普及活動を実施する。及び6か月後を目途にプログレスレポートを提出する。

本邦研修期間

(A)2019/6/26~2019/8/2
(B)2019/6/25~2019/8/1

担当課題部

地球環境部

所管国内機関

(A) JICA関西(業務二)
(B) JICA関西(業務二)

関係省庁

厚生労働省

実施年度

2018~2020

主要協力機関

(A)大阪市水道局・京都市上下水道局/(B)神戸市水道局

**特記事項
及び
ホームページ**

(A)大阪市水道局、京都市上下水道局/(B)神戸市水道局
(A)コースについては、技術研修開始日より約8日間は、(給・配水)コース研修員と合同で受講するために、(給・配水)についての基礎知識の習得が可能。